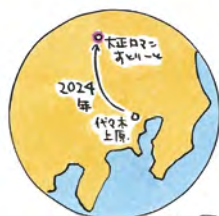


イラストで見る 見どころ紹介

編集者・画文家 宮沢洋さん／著



大正ロマンストリートに2024年仲間入りした「旧久米家住宅洋館」。解体一歩手前の危機から見事に復活!!



1912年(大正元年)ごろ、東京・代々木上原に建てられた。

名誉市民・久米民之助

建て主は久米民之助。1861-1931 沼田市出身の実業家。現在の沼田公園(沼田城跡)を私財を投じて整備した。この洋館は、解体直前にあつて故郷・沼田への移築が決まった。



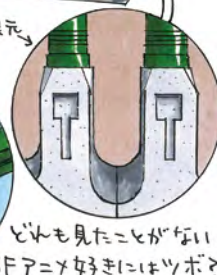
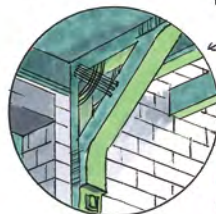
沼田公園の銅像

セセッション

デザインは、ドイツやオーストリアなどあった「セセッション」の影響を受けている。

セセッションは、幾何学的な装飾が特徴だ。

だから、手廻りもよく見ると、SF、面白いデザイン。



チャレンジ!

土木技術者でもあった久米民之助の進取の精神がよくわかる。

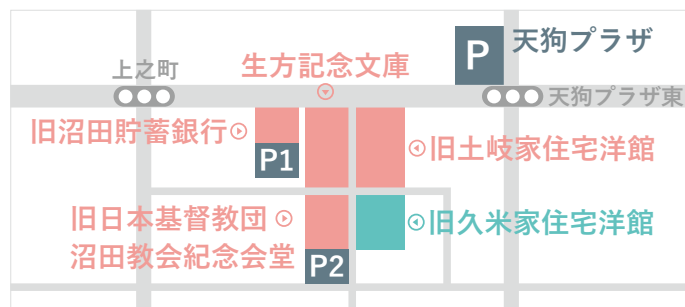
コンクリートの束

移築後は、床の一部がガラス張りになり、床下の「コンクリートの束」が見える。



コンクリートの建物がまだ珍しい時代の実験的手法。建築の歴史の観点からも貴重。

大正ロマンエリアを散策しよう



開館時間 9:30~17:00 休館日 水曜日、祝日の翌日
観覧料 旧土岐家住宅洋館・生方記念文庫は大人 110 円
P1 駐車台数 4 台 P2 駐車台数 1 台、身体障がい者用 2 台



大正ロマンエリアの街並み

屋内の様子



民之助が建てた当時の姿に復原

シャンデリア、暖炉、壁紙などは、古い写真や解体調査を基に復原しました。